



1. マーケット・レート

			8月28日	8月29日	8月30日	8月31日	9月1日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1670	3.1650	3.1600	3.1490	3.1400	-0.0090
	BRL/JPY	Spot	34.50	34.67	34.89	34.93	35.11	+0.18
	EUR/USD	Spot	1.1979	1.1972	1.1884	1.1909	1.1860	-0.0049
	USD/JPY	Spot	109.26	109.73	110.26	109.98	110.26	+0.28
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.67	7.62	7.58	7.60	7.59	-0.0186
	Future	1Year(p.a.)	7.65	7.59	7.57	7.58	7.63	+0.0493
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.418	2.397	2.394	2.310	2.066	-0.244
	USD	1Year(p.a.)	2.546	2.564	2.537	2.520	2.429	-0.091
株式	Bovespa指數		71,016.63	71,329.88	70,886.25	70,835.06	71,923.11	+1,088.05
CDS	CDS Brazil 5y		199.90	200.33	197.30	195.71	191.07	-4.64
商品	CRB指數		178.012	177.531	176.875	180.857	180.946	+0.089

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは強い第2四半期GDPを受けて一時3.12台まで上昇。
- 週初のレアルは3.1620で寄り付いた。北朝鮮が日本上空を通過するミサイルを発射したことを受けリスクオフムードが広がると、レアルは週間安値3.1750を示現。週央には予想を大きく上回る米第2四半期GDPを受けてリスクオフムードが後退しレアルは反発。TLPの下院通貨や伯7月失業率の4ヵ月連続改善、強い第2四半期GDPなどを背景に週間高値3.1250をつけた。週末にかけては8月米雇用統計が予想を大きく下回ったことを受けて新興国通貨が軟調に転じ、結局3.1400で越週。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率の2017年予想が0.34%から0.39%に上方修正された。2018年予想は2.00%に据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.51%から3.45%へ6週ぶりに下方修正されたが、2018年は4.20%に据え置かれた。政策金利予想は2017年末予想が7.50%から7.25%に下方修正され、2018年末予想は7.50%に据え置かれた。
- 30日、BNDES(国家経済社会開発銀行)の制度融資に適用するベースレートを、現在のTJLPから、市場金利に連動するTLPへ変更することに関する採決が下院で行われ可決された。同法案は上院に送られ、来週前半にも採決が行われる見通しとなっている。
- ハリケーン「ハービー」の影響で米テキサス州の製油所が相次いで操業停止に追い込まれたことを受けて、ガソリン先物は2015年6月以来の水準まで急騰。直近限月物は1週間で約22%上昇した。
- ブラジルの第2四半期は前期比+0.2%となり、ゼロ成長の市場予想を上回った。失業率の低下や安定したインフレ率を背景に消費者需要が2014年第4四半期以降で初めてプラスに転じた。これを受けてボベスパ指数は一時6年9ヶ月振りに72000を上抜けた。
- 8月米雇用統計は非農業部門雇用者数が180千人増加予想に対し156千人の増加に留まった。7月分の値も209千人から189千人に下方修正された。失業率は横這い予想に反して前月の4.3%から4.4%に上昇した。

3.今週のチャート&ハイライト



出所 : Bloomberg

ボベスパ指数6年9ヶ月振りの高値へ

1日に発表されたブラジルの第2四半期GDPはゼロ成長予想に反して前期比+0.2%、前年比+0.3%のプラス成長となつた。インフレ率、金利、失業率の低下を背景に2014年第4四半期以降で初めて個人支出が+0.7%のプラスに転じ、小売や不動産を軸にサービスセクターが前期比+0.6%の成長を記録した。第1四半期に前期比+11.5%の高成長を記録した農業セクターはゼロ成長に留まつた。第2四半期が予想外にプラス成長となつたことを受けボベスパ指数は2010年11月以来の高値を更新し、一時72,000を上抜けた。リーマンショック後の高値73,103、史上最高値73,920を伺う動きを見せている。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.10—3.20

来週はTLPの上院での採決と6日のCOPOMがある。TLPは週前半に可決されるとの見方が多い。また、COPOMでは100bpsの利下げが金利先物市場でほぼ織り込み済みとなっている。本日公表された米雇用統計が予想よりもかなり弱かったことから、来週のレアルは基本的にリスクオフムードの中でレアル安方向の戻りを試す展開を予想する。尚、来週は月曜日が米国祝日、木曜日が伯祝日となる。特に週後半は市場参加者が少ない中でボラタイルな値動きが予想される。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGV CPI IPC-S	0.30%	0.13%	0.33%
ブラジル	GDP(前期比)	0.0%	0.2%	1.0%
ブラジル	マーキット・ブラジルPMI製造業	--	50.9	50.0
ブラジル	CNI設備稼働率(季調済)	--	77.4%	77.1%
ブラジル	貿易収支(月次)	\$4833m	\$5599m	\$6298m
米	非農業部門雇用者数変化	180k	156k	189k
米	失業率	4.3%	4.4%	4.3%
米	ISM製造業景況指数	56.5	58.8	56.3

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	9/4	FIPE消費者物価指数(月次)	Aug	0.23%	-0.01%
ブラジル	9/4	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	Aug	-1.65%	-1.42%
ブラジル	9/4	貿易収支(週次)	Sep 3	--	\$2154m
ブラジル	9/5	鉱工業生産(前年比)	Jul	1.5%	0.5%
ブラジル	9/5	マーキット・ブラジルPMIコンポジット	Aug	--	49.4
ブラジル	9/5	マーキット・ブラジルPMIサービス業	Aug	--	48.8
米	9/5	製造業受注指数	Jul	-3.3%	3.0%
米	9/5	耐久財受注(前月比)	Jul F	1.0%	-6.8%
ブラジル	9/6	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Aug	2.59%	2.71%
ブラジル	9/6	自動車生産台数(伯自工会)	Aug	--	224763
ブラジル	9/6	SELICレート	Sep 6	8.25%	9.25%
ブラジル	9/6	商品價格指数(前年比)	Aug	--	0.54%
米	9/6	ISM非製造業景況指数(総合)	Aug	55.5	53.9
米	9/7	新規失業保険申請件数	Sep 2	242k	236k
米	9/8	卸売在庫(前月比)	Jul F	0.4%	0.4%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の領布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。